

ダイワ新興アセアン中小型株ファンド-5つの芽- 第18期の運用状況と見通し・運用方針について

2023年2月28日

平素は、「ダイワ新興アセアン中小型株ファンド-5つの芽-」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2023年2月27日に第18期決算を迎えました。当期の運用状況と今後の見通しについてまとめましたので、報告申し上げます。

なお、収益分配方針に基づき、配当等収益と基準価額の水準等を勘案した結果、当期の収益分配を見送ることといたしました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

[ご参考]当ファンドの収益分配方針は以下の通りです。

①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

②原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。

ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

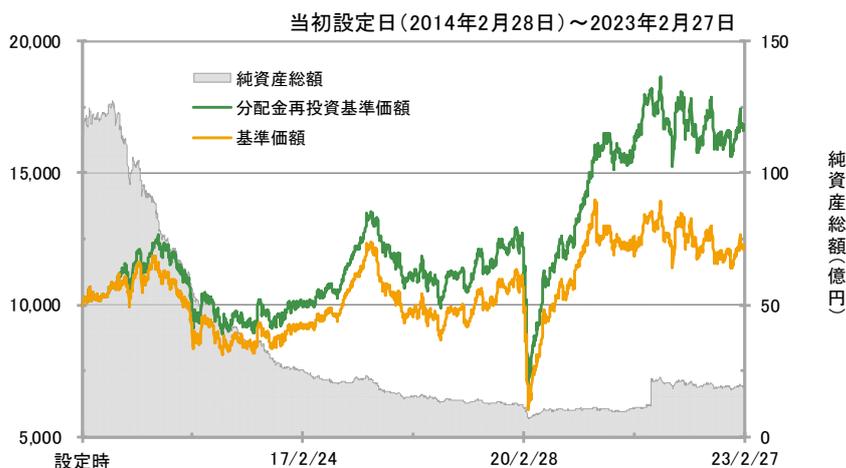
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ 基準価額・純資産・分配の推移 (2023年2月27日現在)

基準価額	12,256円
純資産総額	19億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金	基準価額(円)
第1～14期	合計:	2,900円	
第15期	(21/8/27)	650円	
第16期	(22/2/28)	0円	
第17期	(22/8/29)	300円	
第18期	(23/2/27)	0円	
分配金合計額	設定来:	3,850円	



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和アセットマネジメント)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

お伝えしたいポイント

1. 2022年以降の新興アセアンの市場動向と経済動向
2. 当期の運用状況
3. 今後の見通しと当ファンドの運用方針

1. 2022年以降の新興アセアンの市場動向と経済動向

point

- ・ 2022年以降、新興アセアンの株式は総じて底堅く、通貨は対円で大幅上昇
- ・ 景気は良好で、インフレ・金融引き締めへの懸念も他国に比べ限定的

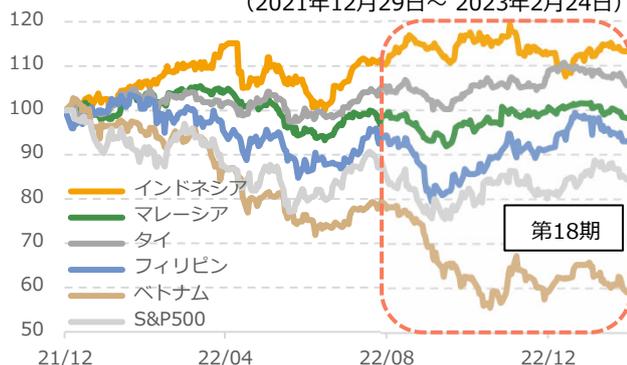
<市場動向>

2022年以降、世界的な株安となる中、新興アセアン株式市場はインドネシアを中心に底堅い値動き（図1）となっています。また新興アセアン通貨も対米ドルでは下落したものの、下落幅は円安米ドル高の進行に比べて緩やかなため、対円では軒並み大幅高（図2）となっています。ただし足元では日本銀行の金融政策修正を受けてやや円高が進行しました。

新興アセアン市場が世界的な株安や米国金利の上昇の中でも底堅い背景には、新興アセアン諸国の景気見通しが良好であることやインフレ懸念が他国に比べ大きくないことがあります。

（図1）2022年以降の株式市場の推移

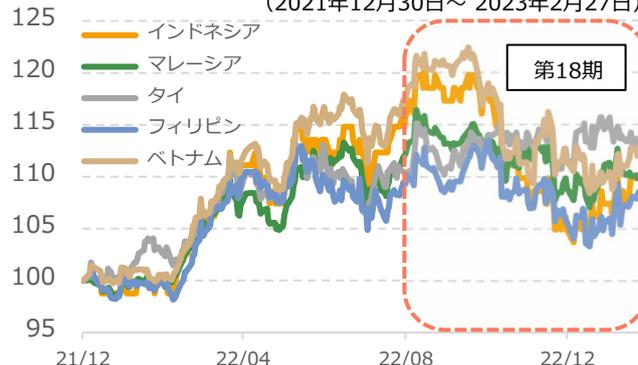
(2021年12月29日～2023年2月24日)



※2021年12月29日を100として指数化
 ※アセアンは各国のMSCI指数、米国はS&P500（全て現地建て、配当込み）
 （出所）ブルームバーグのデータをもとに大和アセット作成

（図2）2022年以降の通貨の推移（対円）

(2021年12月30日～2023年2月27日)

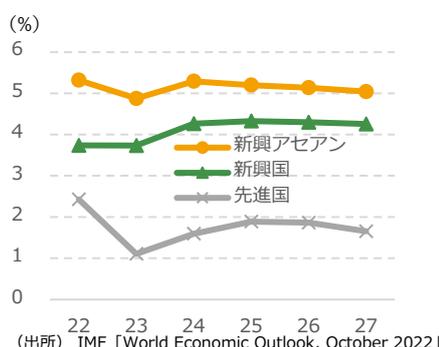


※2021年12月30日を100として指数化
 （出所）大和アセットマネジメント

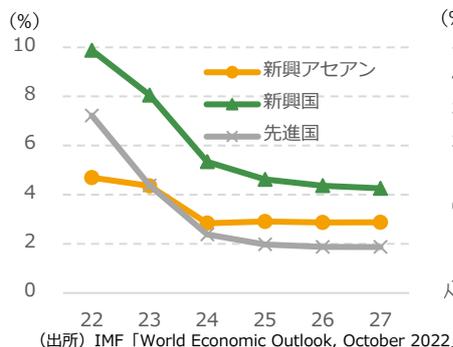
<経済動向>

インフレ率の上昇や金融引き締めで世界的な景気減速に見舞われる中、新興アセアンは経済活動の再開を背景に好調な経済動向が続いています（図3）。また世界的にインフレ圧力が強まる中でも、補助金や比較的安定した労働市場などを背景に、インフレ率は他国に比べ相対的に抑制されています（図4）。米ドル高やインフレなどへの対応のほか、旺盛な内需を受けて新興アセアンの中央銀行も利上げを行い金融政策の正常化を進めています。米国に比べて利上げ幅は小さいです（図5）。インフレのピークアウトや米国金利上昇および米ドル高の一服で利上げ打ち止めに視野に入ってきました。

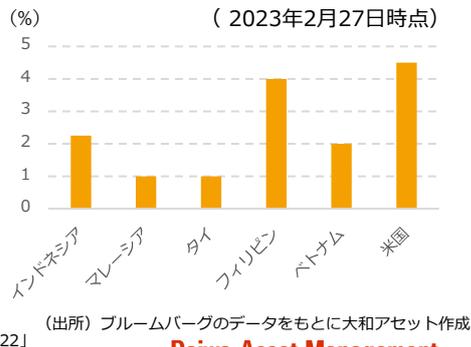
（図3）GDP予測



（図4）インフレ予測



（図5）2022年以降の利上げ幅



2. 当期の運用状況

point

- ・保有株式と為替の下落がマイナス要因となり基準価額は下落
- ・中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄を中心としたポートフォリオを維持

第18期の基準価額は3.1%の下落となりました。保有株式については、10月半ばまでは米国の金融引き締め懸念に伴う世界的な相場下落を受けて下落しましたが、その後は米国の利上げピークアウト期待が強まる中、経済活動再開や中国の水際対策緩和に伴う観光産業の復興期待などを背景に値を戻す展開となり、結果として若干の下落となりました。また日銀の金融政策修正を受けた新興アセアン通貨の対円での下落もマイナス要因となりました。

当期中は中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄を中心としたポートフォリオを維持しました。当ファンドは徹底したボトムアップアプローチにより市場で見過ごされている有望な成長企業に投資することで、信託財産の成長を目指す運用を行っています。

3. 今後の見通しと当ファンドの運用方針

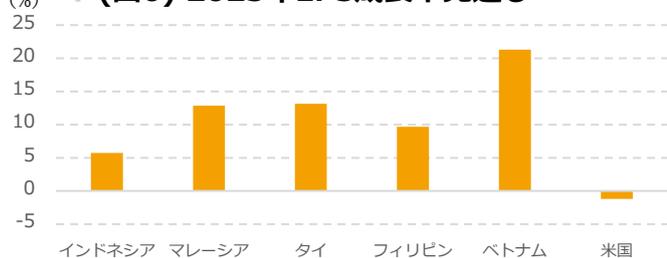
point

- ・新興アセアン株は企業業績の回復期待を背景に堅調に推移する見通し
- ・有望な成長株に引き続き投資する方針

<今後の見通し>

株式市場は、経済活動の正常化による企業業績の回復期待（図6）を背景に堅調に推移する見込みです。また中国の経済活動再開や入国規制の緩和を背景にした新興アセアン各国の観光産業の一段の復興（図7）も景気・企業業績の支援材料になる見通しです。

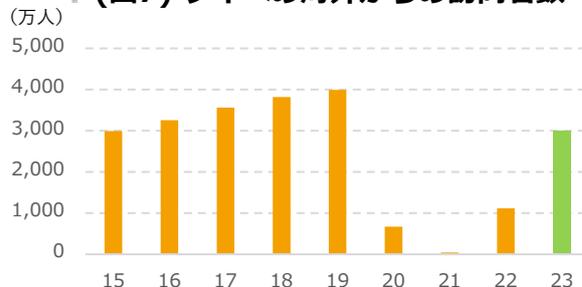
（図6）2023年EPS成長率見通し



※下記の現地株価指数のブルームバーグ集計値（マレーシアのみ赤字企業を除外）。
 インドネシア：ジャカルタ総合指数、マレーシア：FTSEブルサ・マレーシアKLCI指数
 タイ：SET指数、フィリピン：フィリピン総合指数
 ベトナム：VN指数、米国：S&P500指数

（出所）ブルームバーグのデータをもとに大和アセット作成

（図7）タイへの海外からの訪問者数



※2023年はタイ政府の見通し

（出所）タイ中央銀行のデータおよび各種報道をもとに大和アセット作成

当ファンドは高い利益成長性や健全な財務体質を備えた有望な中小型株銘柄に投資していますが、2022年以降は米国金利の上昇や投資家心理の悪化から、保有銘柄の株価が下落しバリュエーションが大幅に切り下がりました。ポートフォリオは今後2桁増益が見込まれる一方で、12カ月予想PER（株価収益率）は約13倍と魅力的なバリュエーションとなっています。米国金利の上昇が一服し投資家心理の一段の改善が見込まれる中、保有銘柄はファンダメンタルズを反映し再評価されると考えています。

<運用方針>

今後も新興アセアン諸国の中小型株式の中から、ファンダメンタルズや企業統治が強固で経営力の優れた企業の発掘に努め、利益成長性が高く、成長性勘案後のバリュエーションにおいて割安感のある魅力的な銘柄を中心に投資していく方針です。ボトムアップ・リサーチの結果として、強靱な事業基盤を背景に市場シェアを拡大できるタイの小売企業や製品普及率の低さから成長余地が大きいインドネシアの消費関連企業、米中貿易摩擦による中国からの生産移転で中長期的に恩恵を受けるマレーシアの製造業に投資妙味があると考えています。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 新興アセアン諸国の中小型株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 新興アセアン諸国の中小型株式に投資します。
 - 当ファンドにおける新興アセアン諸国とは、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピンおよびベトナムの5カ国をいいます。
 - 当ファンドにおける中小型株式とは、以下の基準を満たした銘柄をいいます。

中小型株式の基準

下記①、②のうち、取得時において、マレーシア、タイ、インドネシアおよびフィリピンのMSCI大型株インデックス構成銘柄の企業が発行する株式を除いた銘柄を中小型株式とします。

- ①新興アセアン諸国の金融商品取引所に上場等されている株式
- ②新興アセアン諸国以外の金融商品取引所に上場等されている当該諸国企業の株式

※「株式」には、DR(預託証券)を含みます。

※「上場等」とは、上場、店頭登録、上場予定または店頭登録予定をいいます。

■上記の基準は、2022年8月時点のものであり、将来変更となる場合があります。

本ファンドは、MSCI Inc. (「MSCI」) によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

■ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.815% (税抜 1.65%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※投資対象国によっては、ファンドが株式への投資によって得た配当金に対して課税される場合があります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワ新興アセアン中小型株ファンド - 5つの芽 -

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。